

令和7年度
学校評価報告書



令和8年2月
坂井市立高椋小学校

学校評価書

項目	重点目標	具体的取組	評価の観点	判断基準	回答者	A+B 目標指数	結果				
基礎基本の定着と学習の習慣化	学びに向かう姿勢を整えられるよう、「学習スタンダード」を活用して、基礎基本の定着や学習の習慣化を後押しする。		漢字・言葉・計算のドリル学習を継続し、定着を図っている。(取組指標)	漢字・言葉・計算についての練習を A 毎日実施し、点検をした。 B ほぼ毎日実施し、点検をした。 C ほぼ毎日実施したが、点検は十分ではなかった。 D あまり実施しなかった。	教職員	90	100				
			漢字・言葉・計算の練習や確認テストを通して、児童に基礎基本が身についている。(成果指標)	わたしは、漢字・言葉・計算の力が A しっかり身についた。 B 身についた。 C 少し身についた。 D 身につかなかった。	児童	90	90				
			児童は、熱心に漢字・言葉・計算のドリル学習に取り組んでいる。(満足度指標)	わたしは、漢字や言葉、計算の練習に A しっかり取り組んだ。 B 取り組んだ。 C あまり取り組まなかった。 D ほとんど取り組まなかった。	児童	90	93				
			「学習スタンダード」を利用して、日常的に学習への取り組み姿勢を指導している。(取組指標)	チャイム席や返事など、学習への基本姿勢について A 意識して指導している。 B 気がつくと指導している。 C あまり指導していない。 D ほとんど指導していない。	教職員	90	100				
			児童は、落ち着いた態度で集中して学習に取り組んでいる。(成果指標)	わたしは、授業に進んで A 取り組んでいる。 B だいたい取り組んでいる。 C あまり取り組んでいない。 D 取り組んでいない。	児童	90	96				
			児童は、家庭でも学習する習慣を身につけている。(満足度指標)	お子様は、家庭で宿題をする習慣が A 十分身についている。 B だいたい身についている。 C あまり身につけていない。 D 身につけていない。 E わからない。	保護者	80	88				
	主体的な学びが生まれる学校づくり	読書マラソンを活用して幅広い読書を奨励する。		本に親しみ幅広い読書を行うように読書指導を行っている。(取組指標)	図書室や読書通帳などを活用して、読書の働きかけを A よく行った。 B とときき行った。 C あまり行わなかった。 D ほとんど行わなかった。	教職員	80	70			
				児童は、本をよく読んでいる。(成果指標)	わたしは、学校で本を A 読んでいる。(2、3日に1回以上) B とときき読んでいる。(1週間に1回程度) C ほとんど読んでいない。(月に1回程度) D 全く読んでいない。	児童	80	55			
				児童は、家庭で本を読んでいる。(満足度指標)	お子様は、家庭で本や電子書籍を A 読んでいる。(1週間に1回以上) B とときき読んでいる。(1週間に1回程度) C ほとんど読んでいない。(1学期に1回程度) D 全く読んでいない。 E わからない。	保護者	70	51			
				対話を大切にしたい授業づくり	主体的な学びの過程に着目した「対話的で楽しい学び」を視点に、授業と評価の研究を行う。	研究授業を中心に、「対話的で豊かな学び」に向けた授業づくりを行っている。(取組指標)	「対話的で豊かな学び」を目指し、授業づくりを A よく行った。 B とときき行った。 C あまり行わなかった。 D ほとんど行わなかった。	教職員	90	95	
						児童は、自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりすることが好きである。(成果指標)	わたしは、授業中に自分の考えを伝えたり、友達の見解を聞いたりすることが、 A とても好きだ。 B 好きだ。 C あまり好きではない。 D 好きではない。	児童	80	81	
						児童は、学習内容をよく理解できている。(満足度指標)	お子様は、日々の学習内容を A 理解している。 B だいたい理解している。 C 半分くらい理解している。 D あまり理解していない。 E わからない。	保護者	80	82	
情報活用能力の育成	タブレットを効果的に活用した、個別最適、協働的な学びを研究する。		タブレットの効果的な活用に向けた授業研究を行っている。(取組指標)	タブレットを活用した授業を目指し、授業研究を A よく行った。 B とときき行った。 C あまり行わなかった。 D ほとんど行わなかった。	教職員	90	96				
			児童は、タブレットを使った授業を楽しんでいる。(成果指標)	わたしは、タブレットを使った授業が A 楽しい。 B 少し楽しい。 C あまり楽しくない。 D 楽しくない。	児童	90	98				

学校評価書

項目	重点目標	具体的取組	評価の観点	判断基準	回答者	A+B 目標指数	結果	A	B	C	D	わからない	
豊かな心	豊かな感性を育てるために鑑賞活動や本物に触れる体験活動を充実させる。		鑑賞活動や本物に触れる体験活動を計画的に取り入れている。 (取組指標)	鑑賞活動や本物に触れる体験活動を月に1回以上行った。 A 2か月1回程度行った。 B 学期に1回程度行った。 C ほとんど行わなかった。 D	教職員	80	81						
			児童は、鑑賞活動や本物に触れる体験活動に主体的に取り組んでいる。 (成果指標)	わたしは、鑑賞活動や体験活動に意欲的に取り組んでいる。 A ときどき取り組んでいる。 B あまり取り組んでいない。 C 取り組んでいない。 D	児童	90	93						
			児童は、鑑賞活動や体験活動を通して、感じる心が育っている。 (満足度指標)	お子様は、鑑賞活動や体験活動を通して、感じる心など豊かな感性が育っている。 A 育っている。 B だいたい育っている。 C あまり育っていない。 D 育っていない。 E わからない。	保護者	80	90						
	豊かな感性が育つ教育 多様性の理解と集団の調和 道徳教育の充実	多角的な視点・多様な価値観に気づき、道徳的実践やライフデザインの方が育つ環境作りを工夫する。	縦割り班活動などの他学年とかかわりのある活動に計画的に取り組んでいる。 (取組指標)	縦割り班活動などの他学年とかかわりのある活動に A 学期に2回以上取り組んだ。 B 学期に1回は取り組んだ。 C あまり取り組めなかった。 D 取り組めなかった。	教職員	90	100						
			児童は、他者とかかわって活動する楽しさを感じている。 (成果指標)	わたしは、みんなで何かをするのは楽しい。 A 楽しい。 B だいたい楽しい。 C あまり楽しくない。 D 楽しくない。	児童	80	98						
			児童は、友達や地域の方々と積極的に交わる態度が育っている。 (満足度指標)	お子様は、友達や地域の方々と積極的に交わることができる。 A 交わることができる。 B 交わることができる。 C あまり交わることができない。 D 交わることができない。 E わからない。	保護者	80	94						
			「考える」「議論する」視点から道徳の授業の改善に取り組んでいる。 (取組指標)	思いやりの心をもてるように、話し合いの場や自分の姿を見つめる場を A よく設けている。 B だいたい設けている。 C あまり設けていない。 D ほとんど設けていない。	教職員	90	91						
			児童は、道徳の時間によりよい生き方について考えている。 (成果指標)	わたしは、道徳の時間に学んだことを日々の生活で A 取り組もうとしている。 B だいたい取り組もうとしている。 C あまり取り組もうとしていない。 D 取り組もうと思わない。	児童	90	92						
			学校は、学校はよりよい生き方について考えるために道徳の授業づくりの工夫をしている。 (満足度指標)	お子様は、人と関わる時に相手の気持ちを A 考えている。 B 考えている。 C 考えていない。 D ほとんど考えていない。 E わからない。	保護者	80	90						
	いじめ・不登校の未然防止や迅速対応のための研修を行う。		いじめ・不登校の未然防止等のために魅力ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。 (取組指標)	いじめ・不登校の未然防止等のための A よく取り組んでいる。 B だいたい取り組んでいる。 C あまり取り組んでいない。 D ほとんど取り組んでいない。	教職員	90	100						
			児童は、学校が楽しい(大好き)と感じている。 (成果指標)	わたしは、学校が A 楽しい。(大好き。) B だいたい楽しい。(好き。) C あまり楽しくない。(あまり好きではない。) D 楽しくない。(きらい。)	児童	90	95						
			児童は、毎日喜んで学校に登校している。 (満足度指標)	お子様は、学校に行くのを A いやがることはない B いやがることはあまりない C いやがることある D いやがることがある E わからない	保護者	80	85						

学校評価書

項目	重点目標	具体的取組	評価の観点	判断基準	回答者	A+B 目標指数	結果	
一人一人の健康を支える学校づくり	運動の楽しさと体力の向上	児童が運動を楽しむ場を増やせよう、運動環境を整える。	体育の時間や特別活動の中で運動を楽しむ機会を設けている。 (取組指標)	体育の時間に、運動が楽しく感じる活動をよく取り入れている。 A よく取り入れている。 B ときどき取り入れている。 C あまり取り入れていない。 D ほとんど取り入れていない。	教職員	90	100	
			児童は、運動することが楽しい(好き)と感じている。 (成果指標)	わたしは、運動することが A 楽しい。(好き。) B だいたい楽しい。(まあまあ好き。) C あまり楽しくない。(あまり好きではない。) D 楽しくない。(きらい。)	児童	90	94	
			児童は、学校外でも運動することを楽しみに感じている。 (満足度指標)	お子様は、運動することが A 楽しそうである。 B だいたい楽しそうである。 C あまり楽しそうではない。 D 楽しそうではない。 E わからない。	保護者	80	95	
一人一人の健康を支える学校づくり	生活習慣の改善	児童が主体的に生活改善を進められるよう「すいっちカード」を活用する。	生活アンケートや生活向上カードを計画的に活用する。 (取組指標)	「すいっちカード」などを利用して、目標をもたせて生活を改善するように A よく働きかけた。 B 働きかけた。 C あまり働きかけなかった。 D ほとんど働きかけなかった。	教職員	90	100	
			児童は、自分にあった目標をもって生活改善に取り組んでいる。 (成果指標)	「すいっち週間」のときに、わたしは生活をよりよくするために自分で決めた目標を A 常に意識して取り組んでいる。 B だいたい意識して取り組んでいる。 C 気を付けていることがあまりない。 D 気を付けていることがほとんどない。	児童	80	88	
			児童は、めあてをもってよりよい生活を送ろうとしている。 (満足度指標)	「すいっち週間」中、お子さんは、生活をよりよくするために自分で決めた目標を A 常に意識して取り組んでいる。 B だいたい意識して取り組んでいる。 C 気を付けていることがあまりない。 D 気を付けていることがない。 E わからない。	保護者	80	76	
一人一人の健康を支える学校づくり	情報モラルの向上	児童や家庭の情報モラルの向上をめざし、学びの場を整備する。	情報モラルについて学級で指導を行っている。 (取組指標)	「GIGAワークブックさかい」などを用いた情報モラルについての指導に A 学期に1回以上取り組んだ。 B 年間2回以上取り組んだ。 C あまり取り組めなかった。 D ほとんど取り組めなかった。	教職員	90	70	
			児童は、情報モラルについて正しく理解している。 (成果指標)	わたしは、情報機器の使い方について自分で決めた目標を A 常に意識している。 B だいたい意識している。 C 気を付けていることがあまりない。 D 気を付けていることがほとんどない。	児童	90	90	
			児童は、情報モラルや情報機器の使い方について正しく理解している。 (満足度指標)	お子様は、情報機器の使い方(スマートールなど)について、ご家庭で決めた目標を A 常に意識している。 B だいたい意識している。 C 気を付けていることがあまりない。 D 気を付けていることがほとんどない。 E わからない。	保護者	80	67	
一人一人の健康を支える学校づくり	安心・安全な教育環境の整備	危機管理への意識が高まるよう、命を守る防災訓練等を実践的に行う。	交通安全、避難訓練、不審者対応などについて具体的に指導している。 (取組指標)	事故、災害、不審者等から命を守る指導を A 具体的に継続して行った。 B 具体的にを行った。 C ときどき行った。 D あまり行わなかった。	教職員	90	95	
			児童は、事故や危険から身を守る行動を取ることができている。 (成果指標)	わたしは、交通安全や「いかのおすし」に A いつも気を付けている。 B だいたい気を付けている。 C あまり気を付けていない。 D 気を付けていない。	児童	90	94	
			児童は、交通安全に気を付けて生活している。 (満足度指標)	お子様は、交通安全に A いつも気を付けている。 B だいたい気を付けている。 C あまり気を付けていない。 D 気を付けていない。 E わからない。	保護者	90	92	

学校評価書

項目	重点目標	具体的取組	評価の観点	判断基準	回答者	A+B 目標指数	結果		
地域と 共にある学校	家庭・地域と 協働した取り 組みの推進	学校・学年便りやホームページ等を利用して、積極的な情報提供を行う。	学校・学年便りやホームページ等を使用して、学校の様子をわかりやすく伝えている。(取組指標)	学校・学年便りやホームページ等を使用して、学校の様子を A 月に2回以上伝えている。 B 月に1回以上伝えている。 C 学期に1、2回伝えている。 D あまり伝えていない。	教職員	90	79		
			保護者は、学校・学年便りやホームページ等を見て、学校のことを理解している。(成果指標)	学校・学年だよりやホームページ等を A 見て、お子様と話をしている。 B 見ている。 C あまり見ていない。 D 見ていない。 E わからない。	保護者	90	75		
			お便りやホームページ等で、児童の学校での様子がよくわかる。(満足度指標)	お便りやホームページ等で、子どもたちの学校での様子が A 分かりやすく伝えられている。 B だいたい分かるように伝えられている。 C あまり分かりやすく伝えられていない。 D 分かりやすく伝えられていない。 E わからない。	保護者	90	82		
	家庭や見守り隊と協働した活動を通して、安心・安全な環境の確保を図る。	見守り隊と協力して、登下校の安全確保に取り組んでいる。(取組指標)	見守り隊やPTAと協力して、登下校の安全確保の取り組みが A よくできた。 B だいたいできた。 C あまりできなかった。 D ほとんどできなかった。	教職員	90	94			
				児童は、安全に学校に通うことができる。(成果指標)	わたしは、学校へ A 安全に登下校している。 B だいたい安全に登下校している。 C あまり安全に登下校していない。 D 安全に登下校していない。	児童	90	99	
				児童を安心して学校に通わせることができる。(満足度指標)	お子様の登下校の様子は A 安全である。 B だいたい安全である。 C あまり安全ではない。 D 安全ではない。 E わからない。	保護者	90	88	
	地域社会・外部人材とかかわった学習活動に全年1回以上取り組む。	地域や外部人材と連携して、1回以上授業に取り組む。(取組指標)	地域や学校以外の人材と連携して、授業に取り組むことが A 2回以上できた。 B 1回できた。 C 計画を立てたが、できなかった。 D できなかった。	教職員	90	90			
				児童は、地域や外部の人材とふれあう活動が楽しいと感じている。(成果指標)	わたしは、地域の方や学校以外の方々とふれあう活動(校外学習も含む)が A 楽しい。 B だいたい楽しい。 C あまり楽しくない。 D 楽しくない。	児童	90	95	
				児童は、地域や外部人材と関わる活動に積極的に参加している。(満足度指標)	お子様は、校外学習など地域社会と関わる活動を A とても楽しんでいる。 B 楽しんでいる。 C あまり楽しんでいる。 D 楽しんでいない。 E わからない。	保護者	90	98	
	保幼小中の連携の強化	保育園・幼稚園や中学校との交流活動、情報交換に計画的に取り組んでいる。(取組指標)	保育園・幼稚園や中学校との交流活動、情報交換を A 2回以上できた。 B 1回できた。 C 計画を立てたが、できなかった。 D できなかった。	教職員 (1年、6年、担当)	90	95			
				児童は、中学校への進学について期待している。(成果指標)	わたしは、中学校へ進学することを A とても楽しみにしている。 B 楽しみにしている。 C あまり楽しみにしていない。 D 楽しみにしていない。	児童 (6年)	90	96	
				児童は、中学校へ進学することについて期待感が高まっている。(満足度指標)	お子様は、中学校へ進学することを A とても楽しみにしている。 B 楽しみにしている。 C あまり楽しみにしていない。 D 楽しみにしていない。 E わからない。	保護者 (6年)	80	88	

R7「主体的な学び」の育成について

<p>成果と課題</p>	<p>①基礎基本の定着・学習の習慣化 児童 漢字・計算の力がついた90%◎、漢字・計算の練習をした93%◎、 授業に進んで取り組んだ96%◎ 保護者 家庭で宿題をする習慣がついている88%◎ →児童は、家庭で宿題をする習慣はついている。しかし、今後いかに自主学習する習慣をつけるかは課題。</p> <p>②読書 教職員 図書室、読書通帳を活用して、読書の働きかけをした70%▲ 児童 学校で読書している55%▲、保護者 家庭で読書している51%▲ →教職員が読書を推進する働きかけが十分できていない。 →児童は、学校では学級文庫や図書室の本を読んでいるが、数字には表れていない。 →保護者は、目標指数を下まわっているが昨年とほぼ同じ。親子読書は継続して行うと良い。週1回読書の宿題を出すが良い。</p> <p>③対話的で深い学び 児童 自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりするのが好き81%◎ 保護者 児童は、日々の学習内容を理解している82%◎ →教職員が、授業や学校行事の際に対話(道トーク、高椋トーク)を大事にしてきたこともあり、8割の児童が対話的な授業を好きと感じている。</p> <p>④タブレットを効果的に活用した授業 児童 タブレットを使った授業が楽しい98%◎ →ほとんどの児童がタブレットを使った授業を楽しんでいるので、今後もタブレットを活用した授業を積極的に行うようにする。</p>
<p>来年度に向けた改善</p>	<p>①自主学習の習慣化 宿題には取り組んでいるが、自主学習の習慣化をはかるには、どんな手立てが必要か検討すると良い。</p> <p>②読書 親子読書は継続して行う。教職員が、読書の時間を意識的に設けたり、図書室を利用する時間を設けたりする。週に1回読書の宿題を出す、タイムに図書室に行く日をクラスで決める、給食後やテスト後など隙間時間に読書をするように促すなどの手立てを考える。</p> <p>③対話的で豊かな学び 今後も継続して、授業や学校行事の際に対話(道トーク、高椋トーク)の時間を設ける。</p>

R7「豊かな心」の育成について

<p>成果と課題</p>	<p>①豊かな感性を育む 児童(活動に意欲的に取り組んだ)…93%◎ 保護者(感じる心が育ってる)…90%◎ →ふだんから各学年で外部機関と連携して体験活動を行っていることが良い結果につながった。 1年…バス乗車 秋見つけ アサガオを育てる 2年…電車の利用 畑 3年…スーパーマーケット 警察署 消防署 4年…福祉体験 伝統工芸 5年…自然教室 米作り 6年…修学旅行 地元PRパンフレット</p> <p>②他者との関わり 児童(楽しい)…98%◎ 保護者(関わる態度)…94%◎ →今年度も運動会や高棕まつりなど縦割り活動などを実施してきた。また、1,2年生の交流活動など学年に応じた異学年交流を行ったことが良い結果につながった。</p> <p>③相手の気持ちを考える力 児童(相手の気持ちを考えている)…92%◎ 保護者(相手の気持ちを考えている)…90%◎ →ふだんから集会や各教室で相手の気持ちを考えることの大切さについて継続して指導していること。相手の気持ちを考える力を育てるために、道徳の時間に、多面的・多角的に考えることができるように指導を工夫している。</p> <p>④いじめ・不登校防止 児童(学校楽しい)…95%◎ 保護者(喜んで学校へ行っている)…85%◎ →学校生活アンケートやあったかアンケートの実施を行い、いじめの予防や早期発見に努めた。相談室担当がいるので、安心して利用できる環境がある。</p>
<p>来年度に向けた改善</p>	<p>②他者との関わり 児童、保護者の質問項目の見直し (保護者が道徳について検討できるのか)</p>

R7「健康を支える」ことについて

<p>成果と課題</p>	<p>①運動の楽しさと体力向上（児童94%◎、保護者95%◎） →児童は運動に対して、意欲的に取り組んでいる。 →授業や学校行事、休み時間などに運動の機会が確保でき、児童が積極的に活動する姿が見られた。</p> <p>②生活習慣の改善（児童88%、保護者76%△） →すいっち週間のふり返りや改善に向けて、児童は意識をもって取り組むことができた。学校保健委員会の活動を通して「早寝早起き朝ごはん」を意識できるよう取り組んでいた。 →保護者にも「すいっち週間」を意識して声掛けをしてもらえるよう、何度もお便りを配布したり連絡帳で知らせたりするとよい。</p> <p>③情報モラルの向上（教職員70%△、児童90%-、保護者67%△） →教職員は日常の指導も含めての評価にすることが必要であった。 →児童は、情報機器を安全に使うことを意識することができた。 →生活習慣の改善同様何度もお便り等で粘り強く周知する必要がある。</p> <p>④安心安全な教育環境の整備（児童94%◎、保護者92%◎） →児童は、登下校の際の安全に気を付けて、学校生活を送ることができた。 →多様な避難訓練を実施し、安全に対する児童の関心を高めることができた。</p>
<p>来年度に向けた改善</p>	<p>○情報モラルの向上を図るため、教職員、保護者、児童が一度に意識づける方法として授業参観を有効的に使うとよいと考える。具体的には、全校が各教室で情報モラルの授業を行い、保護者と一緒に考える時間などを確保するとよい。その際、GIGAワークブックを使用することで授業の検討や教材研究がスムーズに進むのではないかと考える。</p> <p>○全校児童、保護者向けの「ひまわり教室」を実施し、全体で情報モラルについて学ぶ機会を設けるとよい。</p>

R7「地域と共にある学校」の育成について

<p>成果と課題</p>	<p>①積極的な情報提供 (教職員・・・伝えている79%▲、保護者・・・見ている79%▲、保護者・・・わかる82%▲) →学校からのお便りは「Home&School」を活用し、随時保護者に配信している。今後も「Home&School」を活用して情報発信をしていく方針であるが、まだまだ不慣れなのか、見てもらえない保護者もいる。また、今年度途中からではあるが、ホームページを一部改良し、「高椋小学校のブログ」で行事などの後にはなるべく早く児童の活動している写真などを掲載するようにしている。保護者に周知しきれていないということが考えられるため、再度お知らせし、パスワードが分からない保護者には、児童を通じて学校に問い合わせしてもらうようにする。 学年の中で学年便りの作成担当が固定化されていることが多く、自分は学校の様子をあまり伝えていないと感じている教職員がいるように感じられる。</p> <p>②家庭や見守り隊と協働した安心・安全な環境の確保(児童99%◎、保護者88%▲) →保護者は安全に登下校できていないと感じている方々もいるが、日々の登下校の様子を見てみると、ほとんどに児童が安全に気を付けて登下校することができている。今後も、継続して見守り隊の方々や家庭と連携し、児童の登下校中の安全を確保していきたい。</p> <p>③地域や外部人材と関わる活動(児童95%◎、保護者98%◎) →校外学習や外部講師による特別授業等の活動を今後も継続して実施していく。</p> <p>④保育園・幼保園や中学校との交流活動、情報交換(児童96%◎、保護者88%◎) →中学校との小中連携事業や情報交換等により、児童の不安は減少している。また、取り組み内容については、保護者へも随時周知していくようにする。</p>
<p>来年度に向けた改善</p>	<p>○今後も「Home&School」の活用を積極的に行うとともに、ホームページの更新頻度も向上させ、学校行事等の取り組みや、児童の活動の様子をわかりやすく伝えられるように努める。特に、行事等があった際には素早く情報を更新するように努める。また、保護者に「Home&School」やホームページに関する周知を繰り返し行っていく。</p> <p>○教職員が学校での様子を伝えていると感じられるように、学年便りの作成担当やホームページの写真担当など、今後は役割を分担して発信していく。</p> <p>○児童の登下校の安全を確保するため、見守り隊の方々だけでなく、保護者とも連携・協力して取り組んできた。児童の肯定的な回答率も高く、今後も継続して実施していきたい。また、保護者の方々への周知を積極的に行い、協力者を増やしていく必要がある。地域・保護者・学校が総がかりで児童の安全を守っていきたいと考える。</p>

R7 [アンケートでいただいた保護者の御意見から]

保護者の御意見の中で全体に関わるものについて以下のように改善を図っていきます。

意見	改善点・対応
<p>宿題の提出物や忘れ物などについて、もう少し厳しく指導してほしい。担任の先生が優しいから、という理由で、忘れ物をして反省がない。慣れてしまっている。</p>	<p>時間割を合わせる、宿題や持ち物の準備など、自分のことは自分でできる児童を目指しています。学校でも声かけはしていますが、お子様だけでは難しい場合もあり、保護者の方からの声かけ、確認がありますととても助かります。今後も、根気強く、そしてあきらめずに学校、家庭の両方から働きかけていければと思います。</p>
<p>見た目をイジってきたり、本人が嫌がるような事を平気で言う生徒がいるようなので学校側で対処していただきたいです。</p>	<p>普段から指導は繰り返し行っていますが、まだまだ徹底されておらず申し訳ありません。今後も、今以上に子どもたちの言動や行動に目を配り、指導していきたいと思えます。ご家庭でも、お子様からそのような内容の話を聞いた際には、学校への情報提供やご家庭での指導など、ご協力をお願いしたいと思います。</p>
<p>マラソン大会や、縄跳び大会などは、普段あまり闘争心のない子ですが、この時は目標に向かって頑張っているのので、続けて頂きたいです!</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。来年度も継続して体育的行事を行い、児童の達成感や満足感がたくさん得られる活動を行っていきます。保護者の皆さまの応援もぜひよろしくお願いいたします。</p>
<p>登下校道路ですが、登下校中の時間帯でも車が結構なスピードを出して走行しているので心配です。</p>	<p>現在、見守り隊の方々や保護者の方々が児童の集団登校と一緒に歩いてくださったり、通学路の横断を伴うような危険な箇所に立ってくださったりしています。いつもありがとうございます。今後も、見守り隊の方々や保護者の方々、我々教職員が連携・協力しながら、児童が安全に登下校できるようにサポートしていきたいと思えます。</p>
<p>ホームページをもっと更新していただきたいです。</p>	<p>行事等があった際には素早く情報を更新するなど、ホームページの更新頻度も向上させるよう努力します。また、ホームページの更新などを「Home&School」を使ってお知らせしていくことも考えています。</p>
<p>中学校にも安心して進学してほしいですので、いろいろな情報をまたお知らせください。</p>	<p>今年度は「チーム担任制の導入」に関わる情報等を6年生保護者にお知らせしました。今後も、中学校進学に関わるような情報は随時お知らせしていきます。</p>